

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度海外における気候変動を踏まえた流域マネジメントに係
業 務 概 要	計画準備1式、先進的な「流域マネジメント」の取組に関する海外の事例調査・分析1式、国内への適用方策に関する検討及び事例集の作成1式、報告書作成1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 森田 康夫 福岡市博多区博多駅東2-10-7
契 約 年 月 日	令和 6年 7月11日
契 約 業 者 名	令和6年度海外における気候変動を踏まえた流域マネジメントに係る調査検討
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区日本橋箱崎町5-4アライズ第2ビル6F
契 約 金 額	39,996,000円(税込み)
予 定 価 格	39,996,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙の通り
業 務 場 所	福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番7号
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6年 7月11日
履 行 期 間 (至)	令和 7年 2月28日
備 考	

## 契約理由書

1. 業務件名 令和6年度海外における気候変動を踏まえた流域マネジメントに係る調査検討業務
2. 履行場所 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 住所：東京都中央区日本橋箱崎町5-4 アライズ第2ビル 6階  
会社名：令和6年度海外における気候変動を踏まえた  
流域マネジメントに係る調査検討業務  
JWF・JICE・RFC設計共同体  
電話：03-5645-8040
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び  
予算決算及び会計令第102条の4第三号

### 5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

#### 1) 当該業務の目的

本業務は、気候変動も踏まえ、主に海外における多様な主体と連携した「流域治水」、「カーボンニュートラル」、「デジタル田園都市」、「水・食料の安定供給」、「ネイチャーポジティブ」に関する取組（以上の取組をまとめて「流域マネジメント」と仮称）の調査・分析を行い、日本の現場での実践や新たな政策立案に活用できるよう、適用方策の検討をするものである。

#### 2) 業務の内容

- |                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 1. 計画準備                            | 1式 |
| 2. 先進的な「流域マネジメント」の取組に関する海外の事例調査・分析 | 1式 |
| 3. 国内への適用方策に関する検討及び事例集の作成          | 1式 |
| 4. 報告書作成                           | 1式 |

#### 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上であることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を28者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、実施方針及び評価テーマ「国内での流域マネジメントの取組状況を踏まえたうえで、海外事例を国内において適用する際の留意点」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、及び評価テーマの「国内での流域マネジメントの取組状況を踏まえたうえで、海外事例を国内において適用する際の留意点」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理されているとともに、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示され、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 河川計画課長